

単機能コアドリル

E&S

〈 イ ー エ ス 〉

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を「より安全に」「より効果的に」ご使用頂くために、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、製品を廃棄されるまで大切に保管してください。

ご使用方法

7. 全般共通 ※コア口径80mm以上をご使用の場合、電動機は750W、8A、800rpm程度をご使用ください。

①ご使用になる前に今一度「製品に異常はないか」「対象穿孔材とコアの刃先」「電動機の選定、使用モード(回転・振動など)は間違っていないか」を確認してください。

「異常」「間違い」が発見されたら、そのままでは使用しないでください。

②電動機にコアの取付けをされる場合、「電動機の始動スイッチが切れていること」「電源用コンセントが抜いてあること」を確認してください。

●ストレートシャンクの場合

コアのシャンク部を電動機の「チャッキングの三爪」と「シャンクの三面取り部」を合わせ、しっかりとチャッキングしてください。

電動機でチャッキングする三面取り部が10mmチャック用・13mmチャック用の二段になっております。10mmチャックの場合は細い部分を13mmチャック以上の場合は太い部分(シャンクの根元に近い部分)を確実にチャッキングしてください。

●SDSシャンクの場合

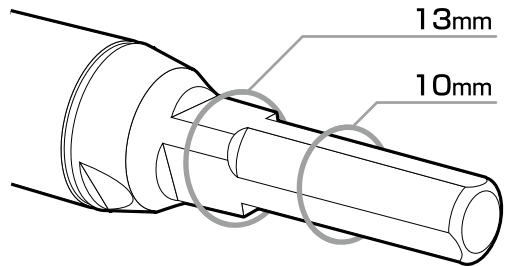
軽量ハンマードリルを使用の場合は、軽量ハンマードリルのチャッキング部にしっかりと挿入してください。

③電源を入れ、穴あけすべき位置の中心にセンタードリルを押し付け、電動機をしっかりと保持して回転させてください。
※センタードリルが振れる、ボディが振れるなどの異常現象がある場合は各部品のセット方法などを再チェックしてください。

④穴あけが完了するまで、出来るだけ電動機を停止させないように作業してください。

※強く押付けるより、電動機の回転数が余り落ちない、適当な押付けで穿孔作業をしたほうが、穿孔時間は短縮されます。

10mm/13mmチャック兼用シャンク
(口径:25~220mm)



万一、シャンクが外れた場合は、25Nm以上の締付けトルクでシャンクを締付けてください。(ボディを固定し、両手で力一杯締付ける程度の力です。)
組付け・締付けには穴あけ用の電動機は使用しないでください。

2. センタードリル交換の仕方

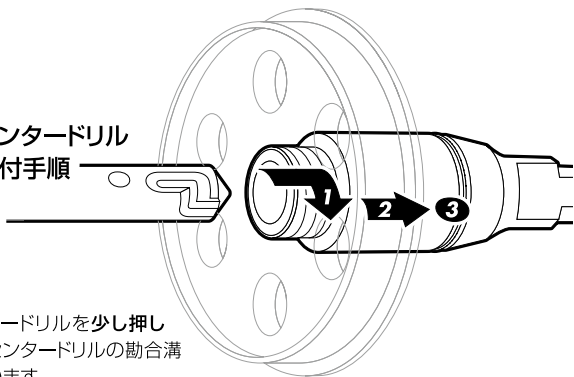
●センタードリルの取外し

- ①センタードリルを軽く引張り反時計回りに60°回転させますと、シャンク内部でセンタードリルが外れた状態になります。
- ②そのまま引き抜いてください。センタードリルは簡単に外れます。

●センタードリルの取付け

- ①センタードリルをシャンクのセンタードリル穴に深く挿入します。
- ②シャンク内にある突起に突き当たったら、センタードリルを少し押し込みながら時計回り方向に回しますと、突起とセンタードリルの勘合溝が合い、センタードリルは更にシャンクの奥まで入ります。
- ③センタードリルが奥まで入った所で、更に時計回りに60°回しながら押し込むとセット完了です。

センタードリル
取付手順



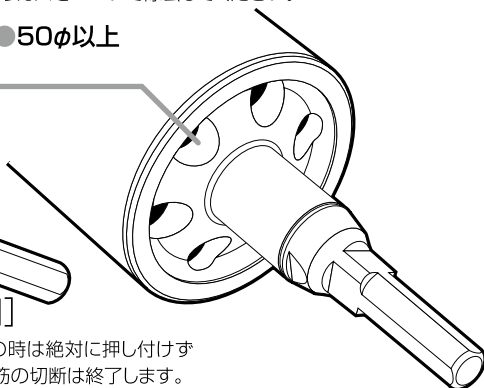
3. 切りカスの除去

「22φ～45φ」のサイズはボディの側面、「50φ以上」のサイズはフランジ部に「切削屑排出孔」が設けてありますので、ドライバーなどを用いて相向いの穴から交互に切りカスをつついて除去してください。

●22φ～45φ (DC以外)



●50φ以上



4. ALCコアでの穿孔 [回転専用]

穿孔中铁筋に当たった場合、穿孔音が変わります。その時は絶対に押し付けず軽い音が出る程度に保ってください。しばらくすると鉄筋の切断は終了します。



鉄筋切断中は、強く押し付けしないでください。刃先が鉄筋に噛み込み刃先を傷めると同時に大変危険です。

5. 乾式ダイヤモンドコアでの穿孔 [回転専用] ※ヒューム管専用含む

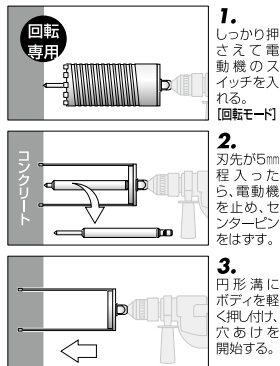
- ①刃先が3～5mm穿孔したら、一時穿孔を中断してください。
- ②センターピンを外したのち、切り込んだワダチにコアの刃先を合わせ、再び穿孔を開始してください。
- ③穿孔中は電動機の回転数をできるだけ落とさないよう穿孔してください。

- ダイヤモンドコアは他のコアと違い「研削」で穿孔しますので「回転数の高い電動機」を使用し「電動機の回転数をできるだけ落とさない」よう穿孔するのがコツです。
- 切粉の排出が悪い時など、コアを回転させながら穿孔穴から抜け出さない程度に穿孔方向に「引いたり」「押したり」すると切粉がより排出されます。
- 切れ味が落ちてきたら刃先の目立て（ドレッシング）をしてください。刃先のタイヤが摩耗したり、脱落しますと切れ味が落ちてきます。ブロックなどを数回穿孔しますと、刃先のタイヤを保持しているボンドが削られ、新たなタイヤが突出してきて切れ味は元に戻ります。
- 大口径サイズをご使用の場合は、SDS シャンクを推奨します。



素手でセンタードリル、センターピンを引き抜くと、指や手を怪我する場合がありますので必ず手袋を着用してください。

乾式ダイヤモンドコアの作業手順



対象物・電動機別適合表

対象物		E&S	振 動 用 VC	A L C 用 ALC	マ ル チ タ イ プ MC	複 合 材 用 FC	乾 式 タ イ ヤ DC	備 考
								◎……最適 ○……適
		コンクリート					◎	
		ブロック・レンガ	◎				○	
		モルタル	◎				○	
		A L C		◎				
		磁器タイル					○	刃先を冷却しながら ご使用ください。
		硬質サイディングボード	○				◎	
		石 材					○	
		木 材			○	◎		
		合 板			○	◎		
		石膏ボード	○		◎	○		
		軟質サイディングボード	○		◎	○		
		塩ビ板			◎	○		
		F R P			◎	○		
		薄鉄板・アルミ				◎		
		金属系サイディングボード				○		
		樹脂系人造大理石					◎	刃先を冷却しながら ご使用ください。
		2×4(釘入り)				◎		
		ガルバリウム鋼板				◎		
		ステンレス薄板				◎		
		ヒューム管					◎	ヒューム管専用を ご使用ください。
電 動 機	回転モード			●	●	●	●	
	振動モード		●					
	SDS打撃モード		●					
部 品	ストレートシャンク		●	●	●	●	●	
	SDSシャンク		●	●	●	●	●	
	センタードリル		●	●	●	●		
	センターピン						●	
	ガイドプレート						●	口径210mm以上

保 守 ・ 管 理

- ①ご使用後は、付着しているゴミなどを綺麗に拭き取ってください。
- ②長時間ご使用にならない場合はゴミなどを綺麗に拭き取った後、防錆油など防錆効果のあるものを塗布しておいてください。
- ③その他ご不明の事がございましたら、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

安 全 上 の 注 意



警告

●作業に適した服装で作業を行ってください。特に切り屑等が目に入らないように、保護メガネを着用してください。

- 作業環境を整えてから作業を行ってください。高所、可燃性物質のある所、暗所、雨中、湿地にての作業は足場確保、落下防止、引火防止、感電防止などの安全を確保してから行ってください。
- 使用前、製品に損傷がないかを点検し、損傷があるときは絶対に使用しないでください。
- 電動機に着脱する際は、始動スイッチが切れていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 工具を電動機に取付けた後、穴あけ作業時以外は空転させないでください。
- 穿孔時の摩擦により製品本体、切り屑、穿孔面は高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
- 危険ですので、空転はさせないでください。
- 改造は絶対にしないでください。
- 回転中の回転部分、特に刃先には絶対に手を触れないでください。
- 回転中に異常を感じたときは、作業を中止し、製品・電動機を点検してください。
- 記載用途以外の使用は、メーカーに必ずお問い合わせください。
- 使用する電動機の取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。



注意

●作業者以外は作業場の周囲に近づけないでください。

●刃先は鋭利ですので、素手では触れないでください。

- 部品交換、組立時は取扱説明書をよくお読みください。
- 交換部品は製品の仕様に適合するものをご使用ください。
- 使用する電動機仕様にあった製品・サイズをご使用ください。特に、小径サイズ向けのバッテリー式電動機で大径の製品を使用したり、ブレーキ付き電動機で大径コアを急停止させたりしますと、思わぬ怪我や工具・電動機の破損を招く恐れがあります。
- 口径180mm以上をご使用の場合、電動工具に大きな負荷がかかりますので、高負荷による回転低下・変動が起こらないよう回転音を確認しつつ、ゆっくりと切り込んでください。また、作業安全の観点から、クラッチ付きの電動工具の採用をご検討ください。
- 穴あけ作業で高負荷な状態を続けると、電動工具のモーターの焼付きを起こし、破損する危険がございます。
- 使用中は逆回転させないでください。刃先やシャンク破損の原因となります。

製品の品質に関しましては万全の体制で取り組んでおります。万一、欠陥・不良等の場合には、お手数ですが、製品と当取扱説明書を添えてご購入店にお持ち下さるか、弊社本社宛に発送してください。また、本製品は改良のため、仕様および形状を予告なく変更することがあります。ご了承ください。

unika
ユニカ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-6

TEL.03-3864-8711 FAX.03-3864-7746

東京 / 大阪 / 福岡 / 仙台 / 名古屋 / 北海道 / 岩手 / 群馬

2109H10UN-NS